



本年度の結びに当たって

～「人生のあいさつ」と「3つのC」～

校長 井上 貴文

3月も半ばを迎え、だいぶ暖かくなりました。校内の花々が一斉に咲き、卒業・修了の日を待ちわびているかのようです。長い時間の流れの中に「始まり」と「終わり」を作ってきたことは人類の知恵の一つだといわれています。卒業式や修了式もその一つです。この大きな節目に自分を振り返ることはたいへん大切なことです。本年度は、学校創立50周年という大きな節目の年でもありました。「これまでの学校」を知り、「これからの学校」について考える場面も多々ありました。子供たち一人一人にとりましても、「これまでの自分」と「今の自分」、そして、「これからの自分」についてしっかり考える年度末にしてほしいものだと思います。

さて、これまでの人生を振り返ると、さまざまな人々との出会いがあり、その一つ一つが、自分自身にとって大きな財産をいただけてきたように思います。そして、そこには、「愛」「命」「運」「縁」「恩」がありました。これらは「人生のあいさつ」として今後も大切にしていきたいと思っています。

- 失敗を温かく受け入れてくださる「愛」がありました。【あ】
- 皆さんのやる気、熱気、情熱など「命」の輝きに勇気をいただきました。【い】
- 笑顔で周囲に感謝する心もち続けるよう努力することで「運」をいただきました。【う】
- 人と人とのつながりを大事にし互いに協力し合うことで「縁」をいただきました。【え】
- まだまだ足りないこととはいえ、他人にさせていただいたことに対する「恩」に報いるよう努めてきました。【お】

また、人生は選択と意思決定の連続です。思いどおりにいかないことも多く、どうしたらよいのか悩み迷うことも日常茶飯事です。「人生のあいさつ」は、自らの手で意図してできることよりも、人的環境や巡り合わせなど、小さな偶然の積み重ねの結果として成し得ていることの方が多いように思います。であればこそ、それらを引き寄せる行動が必要となります。では、どのように行動すればよいのか。そのことを子供たちは日々の学校生活の中で学んでいると考えています。前向きに努力を続ける日々の中で、もし、チャンス(chance)が巡ってきたら、それを逃すことなくチャレンジ(challenge)し、チェンジ=変化・成長(change)することが大切です。これら「3つのC」は「人生のあいさつ」と併せて大切にしていきたいものです。

本年度も家庭や地域で「愛」情いっぱい育てていただいた子供たちをお預かりし、「命」が輝く学校経営を心がけてまいりました。幸「運」にも子供たちに大きな事故等もなく何よりです。楽しく学びしっかりと力を付ける学校として、まだまだ反省すべきことも多いですが、これまでにいただいた「縁」を大切に、今後も職員一丸となって課題解決に当たってまいります。

最後に、この一年間、本校の教育活動に力強い御支援と御協力を賜りました保護者、地域の皆様の御「恩」に対し、改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

